

令和7年度第1回
板橋区総合教育会議

令和7年5月21日

策定の背景

私たちは、国際情勢の変動や社会経済の不安定化、生成A Iをはじめとした科学技術の飛躍的な発展、長期的な気候変動など、将来の予測が困難な時代を生きています。また、グローバル化や少子高齢化の進展に伴い、多様性への理解が求められています。

子ども一人ひとりの姿は多様です。個々の状況に寄り添い、子どものよさや可能性を引き出し、伸ばしながら、「誰一人取り残さない教育」を実現することが求められています。

大人にとっては、時代の変化に対応するために、生涯学び続け、知識やスキルの更新がこれまで以上に重要となっています。

また、子どもを守られる存在として接するのではなく、子どもも社会の一員として、ともに考え、ともに社会に参画していくことで、教育の価値はより高まります。

こうした状況に対応するため、従来の枠組みを超えた、新しい学びの創造が必要です。この変革の核となるのが、「多様な学び」の実現です。

学びは、知識の習得だけでなく、スポーツや文化活動、地域との関わりなど、様々な体験を通じて、自分を成長させ、世界を広げるものです。そうした学びは、教育の枠を超え、環境・福祉・医療など多様な分野、地域・NPO・企業など多様な主体との連携・協働により、可能性が広がります。

教育を通して、学ぶ喜び、成長する喜び、人とつながる喜びを感じられることが、一人ひとりの生涯にわたる幸せにつながります。

板橋区は、「学びを通じて、幸せと成長を実感できるまち」の実現をめざし、区民の皆さまとともに全力で取り組んでまいります。